

■ 研究課題名

25 マスギャザリングにおける感染症サーベイランス強化に向けた研究

■ 研究の概要

2020 年オリンピック・パラリンピックが東京都で開催される。開催期間中は、平常時と異なり予期せぬ感染症の発生も予測されるため、感染症サーベイランスの強化が求められている。開催期間中の迅速な異常探知に備えるため、競技会場を中心とした感染症サーベイランスから平常時のベースライン、大会期間中のリスク及びサーベイランスに関わる病原体検査体制について検討し体制の確立を目指す。

■ 研究期間

平成 30 年度から令和 2 年度まで

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 大井 洋

■ 研究責任者の氏名

企画調整部健康危機管理情報課

草深 明子

■ オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。